

# 協会だより

(社)秋田市建設業協会

## 目 次

1. 年頭のごあいさつ
2. 定例会議
  - ・ 理事会
  - ・ 運営委員会
3. 行事報告
  - ・ 技術講習会
  - ・ 秋田市入札制度の見直し要望書提出
4. 部会の活動
  - ・ 土木・建築部会合同講演会
  - ・ 土木部会講演会・忘年会
5. 秋田市建設技術協会設立40周年記念へ  
「測量技術研修会優勝旗」の贈呈



# 1. 年頭のごあいさつ

会長 林 明 夫

新年おめでとうございます。

平成 23 年の年頭にあたり謹んでご挨拶を申し上げます。

会員各位におかれましては、お元気で新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、チリ北部の鉱山で 8 月 5 日落盤事故があり、地下 700 メートルに閉じ込められていた作業員 33 名が、リーダーの統率力や家族愛に支えられ、極限状態の地下生活から 69 日ぶりに全員奇跡の生還を果たし世界中に大きな感動を与えました。

一方、国内では 7 月の参議院議員選挙で民主党が大敗し「ねじれ国会」となり、また、短期間での首相の交代・検察の不祥事問題や尖閣諸島沖での中国漁船衝突事件など政治上激動の一年でもありました。

本協会においては、昭和 55 年協会設立以来、30 周年となり、社会貢献活動の一環として、秋田市へ自動体外式除細動器（A E D）3 台及び秋田杉ベンチ 10 台を寄贈し、穂積秋田市長から感謝状を贈呈されております。

今後とも協会として、社会貢献活動を積極的に実施してまいりますので、会員皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

さて、平成 2 3 年度に当協会が取り組むべき、大きな課題は 3 つあると思います。1 番目は公益法人制度改革への対応、2 番目は入札制度の見直し要望、3 つ目は秋田市新庁舎を地元建設業者が受注出来るよう要望であります。

初めに、平成 20 年 12 月施行の「新公益法人制度改革」に伴い、当協会も 5 年以内に一般社団法人へ移行するため、昨年からは佐々木茂美税理士から指導・助言いただき組織検討特別委員会並びに理事会で、新定款（案）公益目的支出計画（案）などについて協議・検討を進めてまいりました。

本年 5 月開催の通常総会で新定款などについてご承認いただき、7 月には秋田県知事へ一般社団法人への移行認可申請する予定であります。

次に、建設業を取り巻く環境は、公共事業などが年々減少する中で業者間の過当競争が激化し、最低制限価格や低入札価格で落札する受注等が更に増加するなど、厳しい競争環境や経営環境が継続しており、公共工事などの品質確保の観点からも極めて憂慮される現状にあります。

こうした中であって、穂積秋田市長はじめ秋田市議会から入札制度の見直しについて、私ども協会の要望を受け入れていただき、昨年の 4 月から前払い金制度が一部改正され支

払限度額の撤廃ならびに中間前払い金制度の創設や 11 月から総合評価落札方式の試行導入など、特段のご配慮を賜ったところであります。

また、昨年 12 月 16 日中川副市長と面談し、最低制限価格の引き上げや、解体の格付けに「B」クラスの設定など 5 項目の入札制度の見直しについて要望しております。

本年も、建設工事の品質確保・適正な価格での受注、雇用の拡大などを促進するために、建設業者の経営基盤の強化と持続的発展ができる競争環境などが整備されるよう入札制度の改善などについて、引き続き穂積秋田市長をはじめ秋田市議会に対し積極的に要請活動を展開してまいりますので、皆様のご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます。

次に、秋田市新庁舎建設についてであります。秋田市では新庁舎建設スケジュールを本年度は建設基本構想の策定、平成 23 年度から基本及び実施設計、平成 25 年度から建設に着手すると公表しております。そして年度内に策定される建設基本構想は、建築物の配置や事業方式・発注方法など決定されるとのことで、昨年 8 月 18 日に穂積市長に面談し、是非とも市内建設業者に発注して下さるよう要望しております。

さらに、8 月 31 日には、加賀谷市議会議長・熊谷総務委員長・相原建設産業を考える議員の会会長と面談し市内建設業者への発注要望をしております。

新庁舎の建設は、秋田市当局並びに議会や市民にとりましても 100 年に一度の大事業でありますので、建設予定地である山王の官庁街の景観や環境、国の行政機関や秋田県庁とのバランス・敷地の条件・積雪などの気候条件・防災拠点や大災害時など諸々の要素を考慮しても、建設スペースは十分確保できると考えられますので一棟の高層階庁舎でなく、行政機関の本庁舎と議決機関の議場棟からなる 2 棟建設が最も望ましい配置であり、穂積市長並びに市議会に対し強く要望を重ねて来たところであります。

私共市内建設業者はこれまでも、山王中学校・西部市民サービスセンターを始め、各種大規模建築物の施工実績があり、現在北部市民サービスセンター・秋田市斎場を施工中でもありますので、新庁舎の施工は十分可能であります。

また、市内経済への莫大な波及効果や新たな雇用の確保などの観点からも、私共市内建設業者で歴史的な新庁舎を完成させることを強く望んでおりますので、引き続き要望活動を積極的に展開してまいります。

最後になりましたが、今年は「卯年」兎は「うさぎの坂上り」といわれ、苦難を乗り越え繁栄をもたらす「ことわざ」として古くから言い伝えられており、建設業にも力強い景気の回復と飛躍発展の年になるよう期待するとともに、会員皆様のご多幸とご繁栄を祈念し、新年の挨拶といたします。

## 2. 定例会議

### ◎理 事 会 12月20日(月)

#### 報告1. 委員長報告

阿部運営委員長より委員会の審議結果について報告があり了承されました。

#### 2. 秋田市議会総務委員会との入札制度見直し要望・新庁舎建設に係る市内建設業者への発注要望についての意見交換会

11月26日開催し出席者や要望したことについて、事務局長より報告があり了承されました。

#### 3. 秋田市入札制度の見直し要望提出について

12月16日協会三役が中川副市長と面談し5項目を要望したことについて、事務局長より報告があり了承されました。

#### 議題1. 会員権継承について

三菱マテリアル電子化成(株)の会員権継承について、規約第4条及び会員権継承審査基準に基づき慎重審議の結果、承認することに決定いたしました。

#### 2. 平成23年度の収支予算(案)について

運営委員会の(案)どおり収入予算26,000,000円(会費収入11,550,000円・預金取崩収入7,000,000円・繰越金7,000,000円・雑収入450,000円)支出予算26,000,000円(寄贈事業・建設振興事業・講習、研修事業など9事業費16,054,000円、管理費9,785,000円、予備費161,000円)とする。

なお、現時点で繰越金等が未確定であり、確定後計数整理し予算編成することにしました。

### ◎運営委員会 12月15日(水)

#### 議案1. 会員権継承について

三菱マテリアル電子化成(株)の会員権継承について、規約第4条及び会員権継承審査基準に基づき審議した結果、運営委員会として了とし、理事会に付議することにしました。

#### 2. 平成23年度の収支予算(案)について

収入予算(案)26,000,000円とし、(会費収入11,550,000円・預金取崩収入7,000,000円・繰越金7,000,000円・雑収入450,000円)

支出予算(案)26,000,000円(講演会事業・寄贈事業・防災事業・建設振興事業・講習、研修事業・経営安定対策事業・人材育成推進事業・雇用安全対策

事業・災害、助成事業など9事業費16,054,000円、管理費9,785,000円、予備費161,000円)とする。

なお、現時点で繰越金預金利息等が未確定であり、確定後に26,000,000円の収支内で計数整理し予算編成することとしました。

### 3. 行事報告

#### 【技術講習会】

12月2日(木)協会三階大会議室で講師に秋田大学大学院教授 川上洵氏、ショーボンド建設㈱ 小俣富士夫氏をお招きし「コンクリート変状と劣化について」(コンクリート診断士を目指して)のテーマで第2回目講習会を開催し21名が熱心に受講しました。

#### 【秋田市入札制度見直し要望書提出】

12月16日(木)中川副市長に林会長ほか三役が面談し

1. 最低制限価格の見直し
2. 低入札調査基準価格並びに失格判断基準の見直し
3. 入札時の見積書提出の義務化
4. 解体の格付けに新たに「B」クラスの設定
5. 建設工事の発注は市内業者を優先的に選定すること

について要望書を提出しました。

### 4. 部会の活動

#### ◎土木・建築部会合同講演会

12月1日(水)協会3階会議室において51名が参加し、秋田市公共施設監査保全室の田仲室長・新田参事・島田参事を講師に「秋田市の工事検査」について講演会を開催しました。

#### ◎土木部会講演会・忘年会

12月6日(月)第一会館川反店で28名が出席し大仙市の佐藤貞勝氏を講師に「時の間・やさしさにふれあうとき」について講演をいただき、その後忘年会で親睦を深めました。

## 5. 秋田市建設技術協会設立40周年記念へ 測量技術研修会優勝旗」の贈呈

12月22日(水)林会長が秋田市建設技術協会 伊藤隆彦会長へ贈呈しました。

